

# 令和2年度西区実施プラン 期末報告

令和3年（2021年）3月

西区では、毎年度「西区実施プラン」を策定し、区の使命と区運営の目標・基本方針を定め、それに沿って計画した各重点取組項目について、検証しながら進めてきました。

その結果、令和2年度を取組結果の概要は、次のとおりとなりましたのでご報告いたします。

令和3年度以降も、区民の皆様と連携しながら、区民が主役のまちづくりを進めてまいります。

令和3年（2021年）3月31日

西区長 栗崎 寿也

## I 西区実施プランの全体

### ◇ 西区の使命

区民誰もが健康で安心して生き生きと暮らすことができるように、地域の主体的なまちづくり活動を支援し、区民の皆さまとともに西区のまちづくりを進めてまいります。

### ◇ 西区の運営方針

西区は、札幌市まちづくり戦略ビジョンに基づく防災・環境・文化芸術の各事業を中心に行うとともに、次の3つの方針でまちづくりや区役所の運営を進めます。

- ◆ 誰もが安全・安心に暮らせるまちづくり
- ◆ 地域の豊かな自然環境や文化芸術を生かしたまちづくり
- ◆ 市民感覚を大切にしながら地域とともに進めるまちづくり

- ・ 各部の目標
- ・ 運営方針実現のための取組

## Ⅱ 運営方針実現のための取組

### 1 誰もが安全・安心に暮らせるまちづくり

#### (1)地域の防災力強化

「西区防災訓練」として、区職員等を主体として新型コロナウイルス感染症対策を取り入れた避難所開設訓練（模擬訓練）を行いました。この訓練は地域住民や関係機関も見学し、避難所における感染症対策の手順等を確認しました。

また、地域住民を主体として手稲宮丘小学校で避難所開設訓練を行いました。

さらに、発災時において地域団体が円滑な初動対応を行うことができるよう、区内から12団体をモデル地区として選出し、わかりやすいマニュアルであるアクションカードの作成を支援しました。

なお、小中学校における「避難所開設研修」は新型コロナウイルス感染症拡大防止のため、中止しました。

〈数値目標〉

西区防災訓練の地域住民参加者数	100人	⇒	実績	12人(※)
避難所開設研修(訓練)の地域住民参加者数	50人	⇒	実績	40人

※ 新型コロナウイルス感染症拡大防止のため、規模を縮小して実施



【職員主体の避難所開設訓練】  
(西区防災訓練)



【地域住民主体の避難所開設訓練】

#### (2)介護予防体操の普及

高齢者が健康で地域で活躍できることを目指し、住民とともに制作した介護予防体操「エコロコ！やまべえ誰でも体操」の普及推進を関係団体の協力のもと進めました。6月には新型コロナウイルス感染症対策の一環として、自宅で運動を行えるよう体操のDVDの無料郵送配布を行い、380人にDVDを送付しました。

体操の効果を検証するため、健康や体力に自信のない高齢者に3か月間やまべえ体操教室に参加してもらい、継続的に体操を実施することにより身体機能が向上するとの結果が得られました。

なお、新型コロナウイルス感染症拡大防止のため、普及員交流会と体操教室の参加者を対象とした普及員養成講座は中止しました。

〈数値目標〉 普及員数 420人 ⇒ 実績 390人



【やまべえ体操無料配布】



【介護予防のための健康測定】



【やまべえ体操教室】

### (3)認知症の方や家族への支援

認知症の方がいつまでも住み慣れた地域で生活できるよう、「認知症にやさしいまちづくり」に向けて、西区オリジナルの「㊦さしさ ㊦ごころのあるまち つくる㊦㊦」というキャッチフレーズのもと、西区で作成したリーフレットやポスターを関係機関との協働で区内の病院、薬局、民生委員児童委員、町内会、商業施設等に配布し、多くの区民の皆様へ認知症について理解を深め、早期に気づき、見守りや相談に結びつくための周知を行いました。また、認知症の方や介護者の孤立を防ぐため、介護者同士の交流会を2回開催しました。

認知症サポーター養成講座は、新型コロナウイルス感染症拡大防止のため中止しましたが、西区役所転入職員を対象に認知症に関するアンケートの実施と資料提供を行い、認知症の理解を深められるよう努めました。



【西区ケア友の会（認知症の方を介護する男性介護者のつどい）】

### (4)安心して子育てできる地域の環境づくり

乳幼児の子育て家庭が安心して子育てができるよう、地域の子育て関係機関や団体、地域主体の子育てサロンや子育て支援者と連携し、地域の環境づくりを進めておりますが、新型コロナウイルス感染症拡大防止のため、初めて「転入者子育て交流会」をリモートにより開催しました。

また、「さんかくやまベェまつり」は中止としましたが、それに代わる事業として、家庭でも親子で楽しめる、親子ふれあい体操「やまベェのうた」などの動画を配信したり、実際に子育てサロンを活用し実施いたしました。

その他、こそだてインフォメーション「さんかくやまベェのへや」などにおいて、利用者のニーズにより添った、子育てに関する情報の提供や相談などを行いました。



【転入者子育て交流会】



【やまベェのうた】

## (5)地域との協働による健康づくり

健康寿命の延伸を目指し、地域における健康づくり活動の活性化を図るため、健康づくりに取り組む団体・グループの活動支援や地域主催の健康講座への協力など、誰もが参加できる健康づくり事業を協働で行っており、令和2年度は2回実施しました。

また、健康づくり活動がより多くの区民に広がるよう、乳幼児健診の場を活用し、若い世代に対してがん検診等の啓発を行いました。

## (6)だれでも・いつでも・なんどでもノルディックウォーキング事業

働く世代を含む幅広い世代の区民が多様なライフスタイルに合わせ、年間を通してノルディックウォーキングを活用した健康づくりに取り組むことができるよう、ポールの無料貸し出し等を行いました。

令和2年度は、従来の保健センターに加え、新たに農試公園にも拠点を設けてポールの無料貸し出しを行いました。

また、初心者向け講習会を2回開催しました。

〈数値目標〉 ノルディックウォーキングを実践した人数（令和元年度からの累計）

1,300人 ⇒ 実績 653人/延（令和3年2月末現在）（※）

※ 新型コロナウイルス感染症拡大防止のため、規模を縮小して実施

## (7)誰もが楽しめる公園づくり

身近な公園のリニューアルを、地域の方々と意見交換を行いながら4公園で進めました。また、老朽化した遊具、遊水路、外柵などの部分改修を6公園で行いました。



【西野やまびこ公園(改修前)】



【入口広場】



【幼児広場】

## (8)自転車対策の推進

歩行者の通行を妨げないよう、地下鉄4駅・JR4駅を中心に、駐輪場及び周囲の自転車の誘導・整理、放置自転車（駐輪場864台・路上42台）の撤去を行いました。



【駐輪場】

## (9)安全・安心な道路の確保

老朽化が進んでいた生活道路について、舗装の更新などの生活道路整備を 32 路線で実施しました。

また、冬期間の円滑な交通を確保するため、車道 516 km、歩道 261 kmの除排雪を実施しました。

道路の安全性向上に向け、交差点を中心にガードレール等を新たに7箇所設置しました。

## 2 地域の豊かな自然環境や文化芸術を生かしたまちづくり

### (1)西区環境まちづくり協議会など地域の人々が主体的に取り組む環境活動を支援

西区の豊かで恵まれた自然環境を次世代に引き継ぐため、「西区環境まちづくり協議会」や区民・団体・企業など、地域の人々が主体的に取り組むSDGsに資する環境活動を支援しました。

#### ① 西区環境まちづくり協議会支援補助金

西区環境まちづくり協議会の活動に対し補助金を交付しました。西区は環境推進区として同協議会を中心に様々な環境活動に取り組んでおりますが、長年に渡る活動の実績が認められ、環境省水・大気環境局長から令和2年12月22日付けで「令和2年度水・土壌環境保全活動功労者表彰」を受賞することができました。

#### <補助金を活用して実施された主な活動>

##### ◆「エコキッズ・プログラム」、「親子でエコキッズ・プログラム」、「西区コドモ自然学校」

琴似発寒川や五天山公園などで、昆虫や植物を観察する自然体験教室や川の生き物を観察する水生生物観察会を実施しました。また、新型コロナウイルス拡大防止の観点から参加できなかった皆さんにも広く学んでいただけるように、子ども向けの動画教材を2本（「夏編」及び「秋編」）作成し、小学校等に配布するとともに、西区公式ホームページにアップしました。



【西区コドモ自然学校】

なお、親子でエコキッズ・プログラムは新型コロナウイルス感染拡大の影響で中止となりました。

- ・エコキッズ・プログラム 2回開催、181人
- ・西区コドモ自然学校 1回開催、18人

##### ◆「エコ映画会」

環境に関する映画の上映や講演等を行い、広く区民に環境問題について考えてもらうイベントを予定していましたが、講演は中止し、海洋プラスチック問題を考える映画会を会場及び自宅等でも視聴できるようネット配信も活用して実施しまし

た。

・エコ映画会 1回開催、168人（会場93人、ネット視聴75名）

#### ◆「親子で環境満喫バスツアー」

リサイクルや省エネ啓発を目的とした、市内環境関連施設見学バスツアーを開催する予定でしたが、新型コロナウイルス感染拡大の影響で中止となりました。

#### ◆「西区こども環境広場」

様々な体験やゲームなどを通じて、楽しみながら環境について学ぶ体験型環境イベントを予定していましたが、新型コロナウイルスの感染拡大防止の観点から、三角山放送局において、西区で環境活動に携わる方々等に出演いただき「ラジオで西区環境広場」を実施しました。

## ② 西区アダプト・プログラム

環境美化に対する市民意識の高揚を図るとともに、市民と行政との協働による環境美化活動を推進するため、企業や学校、商店街などの地域団体と、西区役所が協定を結び、身近な道路や公園といった公共の場所を清掃するなど、継続的にまちの美化活動を行いました。

また、10年以上継続して活動している団体に対し、その功績をたたえ表彰を行いました。

今年度の新規参加2団体（活動団体数49団体）



【活動の様子】

## (2) 琴似発寒川の環境保全推進事業

琴似発寒川の環境保全活動を実施しました。

### ① 琴似発寒川一斉清掃

西区内全ての連合町内会が参加して、春と秋の年2回、琴似発寒川及び左股川の河畔約12kmを清掃する予定でしたが、新型コロナウイルスの感染拡大の影響で中止となりました。

### ② やまめの稚魚放流

西区内全ての連合町内会が参加して、春の一斉清掃の翌週に琴似発寒川及び左股川の流域6会場で、やまめの稚魚30,000匹を放流する予定でしたが、新型コロナウイルスの感染拡大の影響で、地域の皆様の参加は取りやめて稚魚の放流を実施しました。

### (3)地域の文化芸術活動の推進

動画配信などを通じて区民の皆様が上質な文化芸術に触れる機会を創出しました。

#### ① コトニジャズ

気軽に本格的なジャズを楽しんでいただけるコトニジャズは、6月～9月にかけて4回の開催を予定していましたが、新型コロナウイルス感染拡大の影響で中止となりました。

こうした中でもコトニジャズを楽しんでいただけるように、西区ホームページに過去の演奏や新たに終電後深夜の地下鉄琴似駅を会場に作成した動画「コトニジャズ at Midnight」を公開しました。



【地下鉄琴似駅での撮影の様子】

#### ② コトニクラシック

本格的なクラシックをより多くの皆様に触れていただくよう開催しているコトニクラシック。6月～9月にかけて3回の開催を予定していましたが、新型コロナウイルス感染拡大の影響で中止となりました。

こうした中でもコトニクラシックを楽しんでいただけるように、西区ホームページに大平まゆみさん(元札幌交響楽団コンサートマスター)が出演した過去の演奏や新たに西区役所1階と正面玄関前で作成した動画「コトニクラシック in 西区役所」を公開しました。



【区役所1階戸籍窓口での撮影】

#### ③ 西区文化フェスタ

2月の約1か月間を開催期間とし、区内各施設を活用しながら、コンサート、ライブ、ダンス、演劇、日舞など様々なジャンルのイベントの開催を予定していましたが、新型コロナウイルス感染拡大の影響で中止となりました。

#### ④ 子ども向けワークショップ「こども・あーと・にしく」

子どもが楽しみながら芸術に親しむことのできる機会を提供する子ども向けワークショップの開催を予定していましたが、新型コロナウイルス感染拡大の影響で中止となりました。

### 3 市民感覚を大切にされた地域とともに進めるまちづくり

#### (1) 企業連携による西区魅力創出プロジェクト事業

区内にある食産業やものづくり等の魅力を多くの方が知り、集客交流が促進されるよう、区内の魅力向上に向けた資源の発掘を行い、企業と連携して地元の子どもたちなどに魅力を体験してもらう企業見学会などを企画しました。

新型コロナウイルス感染症拡大防止のため、企業見学会は中止を余儀なくされましたが、西区に醸造所がある「寿みそ」

(日本清酒㈱) を使用したラーメンを給食

として発寒小学校と二十四軒小学校の全児童に提供しました。また、「寿みそ」ができるまでをまとめたリーフレットを使って、手稲山からの伏流水が注ぐ西区は味噌づくりに最適な場所であることなどを児童に説明し、地元の魅力を発信しました。

〈数値目標〉 魅力体験の参加者数 80人 ⇒ 実績 960人



【給食の様子】

#### (2) 地域の課題解決をまちセンがサポート

住民自ら地域の課題を解決する“地域力”の向上を目指し、区内に8か所ある「まちづくりセンター」が、住民とともに地域の魅力や課題を踏まえたさまざまな事業を行いました。

##### 八軒まちづくりセンター

地域の力を結集し支え合うまちづくり — 安全安心・見守り・防災—

八軒地区では、八軒連合町内会を中心に、関係団体や事業者などによる「八軒まちづくり協議会（八軒サポート隊）」を結成。安全・安心なまちづくり、地域で支え合うまちづくりを進めています。

令和2年度は、新型コロナウイルス感染拡大の影響で一部事業が中止となりましたが、その中、青色回転灯装着車による防犯パトロール、高齢者の見守り活動を充実させるためのマップの準備、三角山放送局での情報発信などを行いました。



【防犯パトロール車両】  
(登録車両数：12台)



【単位町内会マップ (41町内会)】  
※来年度は作成研修会を予定



【三角山放送局に出演する連町会長】  
(毎週水曜日。年間48回実施)

## 琴似二十四軒まちづくりセンター

### 地下鉄琴似駅周辺のまちづくり勉強会

平成27年度に策定した「琴似地区まちづくりビジョン」に基づき、今後の地下鉄琴似駅周辺のまちづくりに関する議論を深めるための勉強会を2回開催しました。



【第2回勉強会（11/19）】

### 町内会活動におけるICT活用の研修会

新型コロナウイルス感染予防と新たな担い手発掘・育成を目指し、リモート会議やホームページによる情報共有を町内会活動に取り入れることができないか検討するための研修会を開催しました。

## 西町まちづくりセンター

### 「子ども達の夢を応援！西町・コンサ通りまちづくり事業」

未来を担う子どもたちが地域への愛着をより一層深められるような、活気ある住みよい街を目指し、「地域の小学校の児童と北海道コンサドーレ札幌バドミントンチーム選手との交流会」（参加者：1小学校115人）を実施しました。



【小学生とコンサドーレバドミントンチームとの交流会】

なお、「北海道コンサドーレ札幌の選手・コーチの指導による少年サッカー教室」は、新型コロナウイルス感染拡大の影響で中止となりました。

## 発寒北まちづくりセンター

### 発寒北安心安全マップを配布

発寒北地区を三分割し、令和2年度は11月に北部・西部地区に避難所等をお知らせするマップを全戸配布しました。

令和3年度は残り南東部地区を作成・配布する予定です。



【発寒北地区安心安全マップ（西部）】



【発寒北地区安心安全マップ（北部）】

## 西野まちづくりセンター

### 水車のあるまちエコ City 西野

かつて140基もの水車が存在し、西野米と呼ばれるお米を生産する広大な水田地帯だった西野地区の歴史を子どもたちに伝えるため「水車で地域交流会」を10月に予定していましたが、新型コロナウイルス感染拡大の影響で中止となりました。

今年は『マンガ 西野の歴史 わたしたちのまち西野』第5版を9月に増版し、西野地区の歴史について学んでもらう教材として、西野小学校、西野第二小学校、平和小学校、福井野小学校の3年生から5年生の児童約900人に配布しました。



【第5版 令和2年9月発行】

## 山の手まちづくりセンター

### ネットワークで発揮する“まちづくり力”支援事業

#### ー 連合町内会を中心とした地域内の連携の拡充 ー

地域内のまちづくり関係団体のネットワーク化支援として、地域住民の交流の活性化、地域の絆の強化によるまちづくり力の向上を目的に実施されている「子供仮装盆踊り」や「ハロウィン in 山の手」での山の手商工振興会と山の手連合町内会の連携を支援しました。

また、福祉分野では、住み慣れた地域で安心して暮らせるまちづくりへの支援として、連町福祉部と福祉専門機関（社協・地域包括支援センター・介護予防センター）との連携や協力を推進しました。

連町を中心に、地域でまちづくりを推進する力が増していることから、引き続き効果的な連携を支援していきます。



【子供仮装盆踊り】



【ハロウィン in 山の手】

## 発寒まちづくりセンター

ごみの減量・リサイクルなどの環境活動を通じ、次代を担う子供たちとともに地域が一体となって「地球にやさしいまちづくり」に取り組む「エコタウンはっさむ」の活動を行いました。

公園の落ち葉を発酵させて堆肥化する「みどりの貯金箱」では、地域の方々が実施する際に発寒南小の児童が参加し落ち葉拾いと切り返し作業を体験しました。春には落ち葉が堆肥となり、地域の花壇や畑で使われます。

家庭から出る使用済み天ぷら油をリサイクルする活動は、新型コロナウイルス感染拡大の影響で大部分が中止となりましたが、発寒児童会館と連携してエコローソク作りを1回だけ実施しました。



【みどりの貯金箱の切り返し作業】



【エコローソク作り】

### 八軒中央まちづくりセンター

#### 八軒中央地区マスコットキャラクター作成事業

子どもたちのまちづくり活動への参加意識を高めるため、地域の小学生からマスコットキャラクターのデザインを募集しました。89点の応募作品の中から最優秀賞に選ばれた「はっけんくん」は、地域在住のグラフィックデザイナーにより洗練された姿となり、八軒中央地区のまちづくりを応援するキャラクターとして活躍しています。



八軒中央地区マスコットキャラクター  
はっけんくん



地元八軒中学校の協力により  
一次審査を実施



最終審査には連合町内会役員の  
ほか、商店会や中学校も参加

#### 八軒中央地区バーチャル散歩事業

コロナ禍において、自宅での運動を気軽に楽しく行えるよう、地域の風景を歩行者目線で撮影した動画を5本作成しました。動画は「八軒中央バーチャル散歩」と題して、札幌市のYouTube（ユーチューブ）公式チャンネルで公開したほか、DVDに収録して100名の方に提供しました。これらの動画はご自宅での「足踏み運動」に活用いただいています。



YouTube 動画はスマートフォンやタブレット端末などで視聴可能



インターネット環境がない方に配慮し、DVD を 100 枚作成  
歩数計、ウォーキングマップとともに希望者に提供

### (3) 緑あふれるまちづくり

道路の植樹ます・植樹帯への花植えによる歩道美化を、地域の皆さんと協働で行いました。(27 路線の 69 団体へ約 13,700 株の花苗を配布)

また、道路景観の向上を目指し、二十四軒手稲通（愛称：ラベンダー通り）のラベンダーによるシンボルロードづくりを地域と協力して進めました。



【花苗植栽による歩道美化】



【二十四軒手稲通（ラベンダー通り）】

### (4) 冬の暮らしに親しむ雪体験授業の実施

将来のまちづくりを担う子どもたちが、冬の暮らしに関心を持ち、札幌の雪対策に対する理解が深まるよう、小学生を対象とした雪体験授業を行いました。今年は新型コロナウイルス感染拡大防止の観点から 13 校での実施となりました。

〈数値目標〉 西区内の全ての小学校 20 校 ⇒ 実績 13 校



【雪体験授業（出前授業）】



【雪体験授業（体験学習）】

## (5)区内のまちづくり活動の情報発信

活動の担い手の発掘や参加の促進につなげるため、町内会を始めとするさまざまなまちづくり活動を、広報さっぽろの表紙（写真 26 枚）や西区ホームページ（51 件）で広く紹介しました。

また、広報さっぽろの企画として「今月のやまベェフレンズ」（10 回）を連載し、西区役所 1 階ロビーのデジタルサイネージ（電子看板）に「西区ニュース」（42 件）を定期的に配信しました。



【やまベェフレンズ】



【デジタルサイネージに表示した西区ニュース】

## (6)窓口混雑緩和の取組の実施

春の引っ越しシーズンの混雑が著しい戸籍住民課窓口において、待ち時間を短縮し、混雑緩和を図りました。

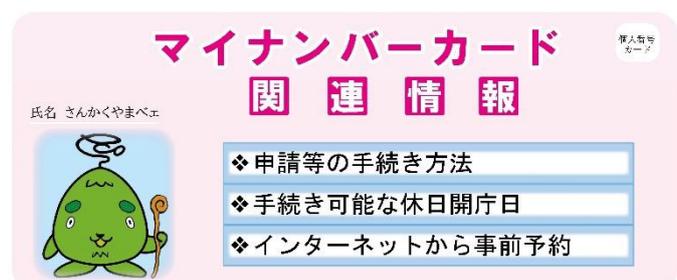
西区役所 1 階ロビーに案内係（コンシェルジュ）職員を配置し、庁舎内案内とともに、窓口受付前の事前説明（必要書類等）を行いました。

また、届出書類への記入の支援等を行うことで、受付に要する時間を短縮し、スムーズに手続きがすまされるようにいたしました。

7 月からマイナポイント事業の申し込みが始まり、マイナンバーカード受け取り等で窓口の混雑が続いたことから、通常窓口とは別にマイナンバーカードの申請サポート臨時窓口を速やかに設置したほか、カードの受け取り日時のオンライン予約制を西区独自で始めるなど、新たな取組を行ってきました。



【マイナンバーカード申請サポート臨時窓口】



【西区ホームページのバナー】